

平成 23 年度 第 2 回佐鳴湖ワーキンググループ会議 議事要旨

日 時： 平成 23 年 10 月 29 日（土）

9：30～12：30

場 所： 佐鳴湖公園北岸管理棟

出席者： 13 名

事務局 9 名

1 開会

● あいさつ（司会進行：事務局）

- ・ 本日も皆様のお知恵をお借りして、佐鳴湖を良くしていくにはどうしたらいいか、話し合っていきたい。今回は和菓子も用意したので、リラックスして、活発なご意見をいただきたい。

2 自己紹介（前回欠席者）

● 各自、一言ずつ自己紹介

● メンバーより、これまでの調査結果からの面源負荷や透明度の現状と課題について説明があった。

● メンバーより、最近わかってきた段子川の湧水について説明があった。

3 第 1 回ワーキンググループ会議の整理（振り返り）

● 資料 1 を用い、第 1 回ワーキンググループ会議の検討結果について説明した。

4 第 1 回ワーキンググループ会議の懸案事項について（事務局）

● 前回欠席者もいるため、再度ワーキンググループ会議の位置づけについて説明した。

● 懸案事項①

「流域にお住まいの方々に、ワーキンググループ会議に参加していただきたい」

- ・ 地域協議会に流域の連合自治会長が参加しており、参加者の募集もお願いしたため、現在手を挙げていただいた皆様とまず意見交換していきたい。また、流域にお住まいの方々の意見として、過去のアンケート結果（資料 3）を参考に議論していく。

● 懸案事項②

「子ども達にもワーキンググループ会議に参加してもらいたい」

- ・ 事務局で検討したが、子ども達が参加するのは内容的に難しい面があるため、別の機会を設けて意見をもらうということは考えている。

【質疑】

- ・ 子ども達の参加については、今説明があったとおりで良いと思う。以前子ども達が参加したワークショップでは、議論についていけない様子が見られた。子ども達は、今は感じたり知る段階であり、夢を語るのは得意であるが、本質的にどうあるべきかを語るのは難しいと思う。（メンバー）
- ・ 11 月に富塚中学校のふれあい体験があり、私のところに中学生が 6 人ぐらい来て、佐鳴湖について勉強する予定である。（メンバー）
- ・ そのような機会に子ども達から出た意見を、ワーキンググループの検討に活かすことができればありがたいと思うのでよろしくお願ひしたい。（事務局）
- ・ ワーキンググループの素案を地域協議会に諮るということであるが、どのように考

えたのかを地域協議会に説明する仕方が問題であると思う。そして、協議会の方々
が佐鳴湖についてどれぐらい理解しているのかというのが重要であると思う。

また、先週、佐鳴台小学校の子ども達にシジミハウスで説明した際、どのよう
な佐鳴湖になった方がいいか尋ねたところ、泳げる佐鳴湖になってほしいという
意見であった。泳げるのはどれぐらいの水か、佐鳴湖の水を薄めて実験したとこ
ろ、CODが3だった。ペットボトルに1～10個のシジミを入れさせて、CODが3に
なるまでの時間を計った。結論としては15個入れれば30分でCODは3になった。

(メンバー)

- ・ ワーキンググループは、今お集まりのメンバーで進めさせていただき、子ども達と
話をする機会や、地元にお住まいの方々のご意見をいただける機会があれば反映し
たいと思う。(事務局)

5 佐鳴湖の位置づけについて (事務局)

- 資料4を用い、問題解決の方策や将来像を検討するにあたって、再確認しておきた
い佐鳴湖の位置づけや役割を図式化したものについて説明した。

【質疑】

- ・ 佐鳴湖を暗いうちから運動や散策に利用する人達の安全として、遊歩道に照明を整
備するとか、佐鳴湖で生活する人達の安全、水に対する安全、防災ということが語
られていない。また、緑を大切ということは出るが、開発しようという人もおり、
具体的にどうすればいいのかということがある。

今話していただいたことは素晴らしいが、それを具体的にするにはどうするか
話し合い、どう実行していくかということが必要である。(メンバー)

- ・ まさにおっしゃられていることが、今日のワークショップで検討することである。
これは一つの考え方として模式的にお示したものである。今からのワーキングで、
地域でできること、行政でできることについて具体的に議論したい。(事務局)
- ・ これには書いていないが、駐車場の関係は大きいと思う。公的交通機関を佐鳴湖方
面に持ってくるような、3年ほど前にあった浜松市のLR T構想など、そういう考
えも必要ではないかと思う。(メンバー)
- ・ そのような話も、ワークショップの中で話し合っていたきたい。(事務局)
- ・ 概念はわかりましたので、次の議論に進めていただきたい。(メンバー)

- 資料3を用い、市民意識アンケート結果について説明した。

【質疑】

- ・ 年齢層はどうなっているか。(メンバー)
- ・ 無作為抽出で実施しており、子どもというより大人が対象である。県が実施した調
査である。(事務局)
- ・ 次の世代を担う人の意見をもっと考えた方がいいと思う。(メンバー)
- ・ 浜松市全域が対象か。(メンバー)
- ・ 流域を対象として実施している。佐鳴湖に特化した調査は、このアンケートだけ
であると思うので、検討の参考にしていただきたい。(事務局)

6 ワークショップ ― 問題解決の方策（アイデア出し） ―
― 将来像のキーワード出し ―

- 資料6、7を用いて、ワークショップの検討内容について説明を行った。
- 資料5、2について説明し、検討の参考にしていただくよう説明を行った。
- A、Bの2グループに分かれ、問題点や課題を解決するためのアイデア出しと、将来像のキーワード出しについてグループワークを行い、検討結果を発表した。（別表 参照）

【補足】

- ・ 泳げる佐鳴湖ということだが、子ども達だけではなくて、今度、市制100周年で市役所からハーフマラソンができるようになった。浜松市が市民遠泳大会をやるようなくらいになってほしい。（メンバー）
- ・ 情報提供ということで、猫のことは、ようやく飼い主、行政、獣医の三者で資金を分担する仕組みをつくった。捨てられた愛玩動物を保護する施設もできる予定である。犬猫以外も含むペット条例を作ろうと思ったが、なかなかまとまらない状況である。また、先程からの話で、泳ぐということがきれいさのバロメーターになっていると思うが、友人から佐鳴湖でトライアスロンをやりたいということで問い合わせがあり、水質のデータを送ったが、返事が来ていない。広報をやるよりも大会をやるのが一番のPRになるだろうと思うので、実現したいと思う。（メンバー）

【質疑】

- ・ 西岸の船着場はどこが管理しているか。また、地デジ化して、大平台のテレビ塔がどうなるのか、知っている方があれば教えていただきたい。（メンバー）
- ・ 船着場の管理は、おそらく公園課であると思う。（事務局）
- ・ ラジオはわからないが、テレビの信号は出ていないと思う。（メンバー）
- ・ 地震のときの安全に問題があるので、現在調べているところである。（メンバー）

7 閉会

- あいさつ（事務局）
 - ・ 今日いただいたご意見を今後地域協議会に諮り、よりよい佐鳴湖となるようにしてまいりますのでよろしくお願いしたい。次回は11月29日、事務局の都合で申し訳ないが14時からの開催を予定している。間違いの無いようお願いしたい。

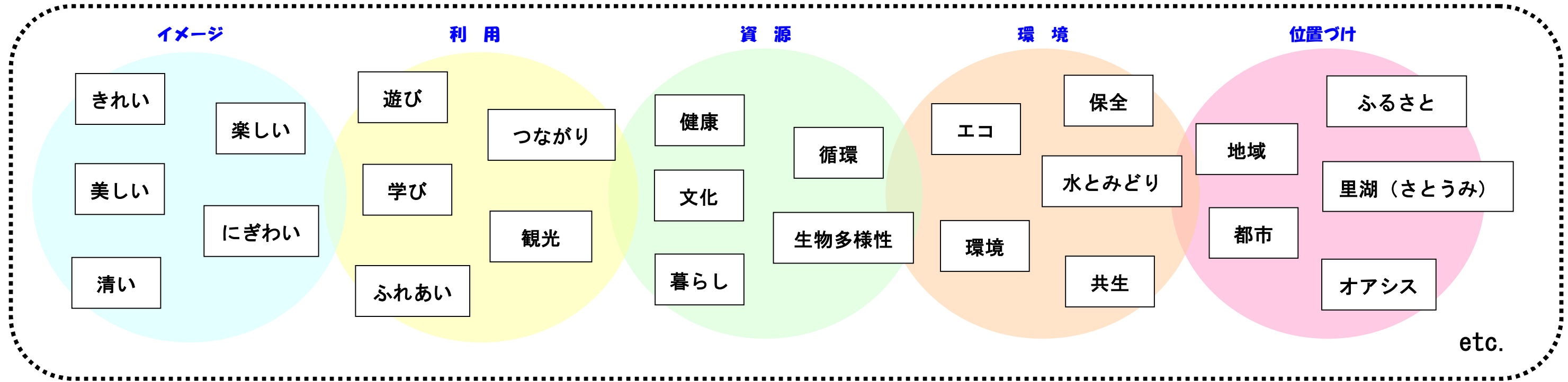
以上

【対策案の検討】 → 【将来像の検討】 第2回ワーキンググループ会議 まとめ1

区分	考えられる方向性 (基本方針)	課題・問題点		対策案	
				地域	行政
水質・水量に関する事	■水質、水量の向上	水量	湧水が少なくなった		<ul style="list-style-type: none"> 根川に湧水を増やす(地下水)、根川湖岸を砂礫にする 湧水を増やすために湧水池を復活(例:太刀洗池) 埋立て湖岸に砂礫を入れる 御前谷排水路前に砂礫を入れる、湖棚の造成 湖棚を増やす、なぎさを増やす 段子川の河床改修を上流へも拡大する(御前谷も) 新川、段子川の水量を増やすために、どうするか 尊水の問題点は何か
		COD改善	まだ、通年8以下になっていない 目標値の設定(通年8以下) 夏のCOD低下(8.0)		
		透明度改善	汚れが目につく(透明度、ごみ) 透明度が低い(汚れが目立つ) 透明度の具体的なイメージが伝わらない。 目標値の設定(50cm以上、0.6m) 透明度100cm(50cm)を目指す(美観・安全からも)		<ul style="list-style-type: none"> 砂をいれ干潟作成、ヤマトシジミと併せて水浄化 きれいな水にするために住民へ行政は何をするか示すこと!! 水のEM処理実験を進める 水処理実験を行うグループを作る
		水色改善	見た目が悪い(水の色)		<ul style="list-style-type: none"> 駐車場の舗装を浸透性にする(〇㎡以上には義務化する)
		水温	湖水の高温化が問題		<ul style="list-style-type: none"> メガソーラー、ヒートポンプ
		塩分濃度	高い値を示している。		<ul style="list-style-type: none"> 現在の塩分適性の沈水植物の試験 塩水化防止のため、新川放水口の対策をすすめる
		逆流水	新川に水門設置している。効果検証		
		総体的指標	五感で伝わる指標がない	<ul style="list-style-type: none"> もっと佐鳴湖を知ろう(子どもも大人も現状をみていない)、情報不足 	<ul style="list-style-type: none"> 佐鳴湖の新しい価値を発見し、それを発信してほしい 最終的には天竜川の清水を流入させること
佐鳴湖自体に関する事	■親水機能の充実 (レクリエーション機能、景観形成機能)	底質改善	ヘドロ堆積の場所がある		<ul style="list-style-type: none"> ヘドロを取り除き、穴を開けて自噴に期待する 湖底のヘドロをふるい分けて、砂礫屑と湖棚にする ヘドロに固化して山をつくりグラス・スキー場とする 湖底から砂を取り出し、ふるい分けした砂礫を残し、ヘドロを固化する
		水辺環境	昔の湖岸に戻したい(砂礫の水辺)	<ul style="list-style-type: none"> 佐鳴湖岸を地域を決めて各グループが責任を持って清掃する(道具等の補助金を出す) 佐鳴湖景観計画をつくる(主に建物、森) 沈水植物を湖棚(50%以上)に植える 	<ul style="list-style-type: none"> “環境が良くなる”?
		レクリエーション、環境学習	公園としてのコンセプトがない 観るもの、遊ぶものが少ない(資料館、水族館、レストラン、遊覧船) 管理棟の機能強化・拡充が必要である。 環境学習として使える場となる整備 楽しみを増やす(カフェ、レストラン、露店、バーベキュー場、ステージ、渡し船)		<ul style="list-style-type: none"> 子どもは学校(小・中)で佐鳴湖を学習している 佐鳴湖を浜松市民の環境活動・エコ活動の拠点にしてほしい 湖岸回り「ウォーキング道」「ジョギング道」「自転車道」をそれぞれ造る
		利用マナー	マナーが悪い(捨て猫、ゴミ、自動車運転等) トイレが汚い	<ul style="list-style-type: none"> トイレをきれいにする(使い方と清掃) 市民のペットマナー(アカミガメ、コイ、トリ)を上げる 	
		賑わい	観光利用なのか、環境保全なのか、人を集める工夫が少ない イメージキャラクター ヤマトシジミ 自然は美しい(市民はいやされている)	<ul style="list-style-type: none"> ザリガニを楽しむに加え、さらに低年齢層の為“キノコ”などトータル設置 	
		生息環境	日光が届かないため、底生動物が少ない。		<ul style="list-style-type: none"> 湖岸に混植・密植の市民運動、宮脇式植樹
		外来種	外来種の駆除(動物、植物)、野良猫が多い	<ul style="list-style-type: none"> 外来種ミシシippアカミガイの駆除 猫の楽園を作る(佐鳴湖から移す) 	<ul style="list-style-type: none"> 湖岸に住みついている猫は動物病院の先生方の協力を得る(避妊手術)
	■生物生息環境の確保、保全(環境保全機能)				

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">周辺地域に関する事</p>	<p>■ 地域住民との結びつきの向上</p>	<p>イメージアップ</p>	<p>ワーストワンのイメージのまま間違っただ印象を与えている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 目に見える変化を 一年中花が咲いている(春:桜、夏:ひまわり、秋:ヒガン花、冬:スイセン)球根の方が良いかもしれない ひそかな楽しみを一般化(バードウォッチング“フクロウ”) 	<ul style="list-style-type: none"> “昭和 30 年頃の姿?” “良くして行く?” “「地域」?” 佐鳴湖は市の指定文化財、名勝地である。このことを考える必要がある
		<p>情報提供(周知)</p>	<p>多様な広報手段が上手く使われていない。(関係者内のみ) 佐鳴湖での取り組みが広く周知されていない。 市長の発言、行動が少ない。</p>		
		<p>COD 改善</p>	<p>COD 負荷大事業者、ピンポイント改善の働きが少ない</p>		
		<p>農業</p>	<p>農業者と佐鳴湖の関わりの認識が少ない。 流域の特徴を加味した農業者支援が少ない(エコファーマー市の開催)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 農産物の青空市場 エコファーマーへの努力をしている 生産者:流域で努力すると利益が増える(行政等認証)⇔消費者:少々高価でも努めて購入する 	
		<p>雨水浸透</p>	<p>以前に比べ、湧水が少なくなった 雨水浸透(浸透枳、浸透舗装)性がまだ低い</p>	<ul style="list-style-type: none"> 災害、安心(地盤(高水位)、地震、高潮)への対応等を示したい 防災(治水)対策を具体的にするには 	<ul style="list-style-type: none"> 雨水浸透ます(設置の義務化、特に新築住宅について流域全件:平等化)
		<p>アクセス</p>	<p>車でないと来れない JR 浜松駅、高塚駅から来にくい 佐鳴湖までの案内(サイン)が少ない</p>		<ul style="list-style-type: none"> 浜松駅からでなく佐鳴湖から LRT を! 自動車道に制限をする(例:西岸には入れない) より安全な佐鳴湖(遊歩道の安全:防犯所等の配置) 水辺空間を周辺路よりみやすく、雑木・生垣を間引き、低くする バス停の整備 浜松駅(または高塚駅)からバス停を作る→入野ポート場や西側公園にできれば直行できるように 都市計画道路の整備
	<p>維持管理</p>	<p>市民参加が少ない。(アダプトプログラム活用)</p>			
	<p>■ 地域循環型社会の形成</p>	<p>緑地保全</p>	<p>まとまった樹林が少なく、市街地が近接している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> どのように植樹をすすめることができるか みどりの保全のため、どうするか 	
		<p>環境学習</p>	<p>広く環境学習の場として使えるプログラムが少ない(周辺の小中学校のみ)</p>		
		<p>物質循環</p>	<p>しくみが上手く機能していない。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 県及び市当局は地域協議会の決議を素直・スピーディーに予算化・仕組み化する 6km100mとして60グループ、50mとして120グループ

【将来像のキーワード（例）】



将来像のキーワード

<p>湖岸に湧水池 豊かな湖棚 佐鳴湖大好き（親水）／現状（状況調査）、 情報提供（認識）、共有化（活用） みんなの佐鳴湖 あなたです佐鳴湖をきれいにするには 地域と佐鳴湖に“ホコリ”を持つ 休日どこ行く！「佐鳴湖へ行くか」が日 常に</p>	<p>環境活動・エコ活動の拠点（メッカ）へ 泳げる佐鳴湖 はだしであそべる佐鳴湖 船で遊べる湖 屋形船を浮かべて遊べる湖（花火を見る）、 冬の夜 写生の出来る佐鳴湖（写生大会をしよう、 又は、写生の勉強会が出来る） 湖からお花見が出来る佐鳴湖</p>	<p>生物多様性（ヤマトシジミ復活） 生物多様性 漁業の活性化 佐鳴湖を市民に紹介する場所（植物、道、 自然等）</p>	<p>命の森づくり（市民植樹） 安全な佐鳴湖（防災、防犯） 実質的な環境教育プログラム</p>	<p>いやされる佐鳴湖 子どもから御老人まで集う佐鳴湖 学べる佐鳴湖 都会の中のオアシス であいの佐鳴湖 彼と彼女の佐鳴湖</p>
---	---	--	---	--